

# 中国におけるスポーツ振興くじを活用した“健身路経”に関する研究

スポーツビジネス研究領域  
5010A019 何 慧群

研究指導員： 中村好男教授

## 第1章 序言

近年、より多くの人々の健康維持・増進活動に長期的な影響を与える要因として、身体活動を実施する環境に注目が集まっている。一方、近年、生活の豊さが増えるに伴い、中国における運動不足による慢性病率や医療保険支出及び政府・個人総医療保険費用支出の増加が明らかにしている。中国における身体活動増進を図る環境整備の重要性が示唆された。しかし、身体活動支援環境整備の財源確保は諸国共通な課題である<sup>1)</sup>。一方、中国では1997年より2008年に至る12年間で、中国スポーツ振興くじ公益金の30億元を活用して、全国で11万もの公共スポーツ施設である“健身路経”が相次いで整備されているという。

本稿の目的は、“健身路経”の設立経緯や構成要素である健康器具の種類等全体像を把握した上、整備現状に関する整備仕組みや整備数及び整備方向性を明らかにする。それを踏まえ、“健身路経”整備に不可欠な財源確保の枠組みの在り方を重点に置かれ、それについて論じることを通し、“健身路経”の持続発展及び身体活動支援環境整備に関する推進事業に助言するものである。

## 第2章 研究Ⅰ：中国におけるスポーツ振興くじを活用した“健身路経”の事例

研究Ⅰでは、“健身路経”の設立経緯構成要素である健康器具の種類と、整備仕組み、整備数及び整備方向性を明らかにした。健

康器具の種類は基礎的な器械体操用具のほか、オリジナルな健康器具を含む全12種類である。中国国家体育总局と省体育局が中核を担っており、1997年から2008年までに合計11万箇所の“健身路経”が整備された<sup>2)</sup>。そのうち、中国国家体育总局が整備した“健身路経”は12回の“健身路経”プログラムにより、11万箇所中、8727箇所に達した。その内訳は、東部は1958箇所、中部は3091箇所、西部は3678箇所であった。また、地域別による“健身路経”の整備数は、東部は減少しているのに対して中部と西部（内陸部）では増加している。中国において“健身路経”の整備は沿海部から内陸部へ重点が移行し、整備資金の運用は新設よりも既設の修繕へ転換している傾向があることを示し、公共スポーツ施設不足を補い、政策介入により地域健康格差の最小化に寄与することが期待されている。そこで、持続的な整備に向けた方策を検討することは課題になっている。それについて、財源がどのように確保されているかを明確にすることで、持続的な“健身路経”の発展方策を考えるための手がかりが得られると思われる。

## 第3章 研究Ⅱ：中国におけるスポーツ振興くじを活用した“健身路経”の財源確保の仕組み

研究Ⅱでは、“健身路経”の財源として中国スポーツ振興くじ公益金に着目し、その

運用方法および運用額を概説し、身体活動支援環境整備財源としての特徴を紹介した。中国スポーツ振興くじ公益金が、国家体育総局と地方体育局により、毎年一定的な金額を確保し、“健身路経”の整備へ支給されている<sup>3)</sup>。その内訳は、国家体育総局は、12年間の累計で10.2億元（146億円）（年平均0.85億元：約12億円）、各地方体育局は19.8億元（年平均1.65億元：約24億円）を“健身路経”利用した。“健身路経”の財源は、財政に負担かけず、健康促進を図る身体活動支援環境の財政確保に関するユニークな取り組みであると考えられる。また、日本におけるスポーツ振興くじ収益金の助成事業と比較して、中国スポーツ振興くじは、健康づくりを目的とした整備に運用される点も特徴であることを示した。“健身路経”整備のみならず、スポーツ振興くじ公益金が“健身路経”の維持管理へ有効に活用されるのか、より幅広い身体活動支援環境の整備へ如何に運用されるのかについて、今後の課題として注目していく必要がある。

## 第4章 総合議論

### 1.本研究の意義

本稿の研究Ⅰで得られた知見と課題を踏まえ、財源の観点から、“健身路経”の持続的な整備に向けて以下の提案を挙げた。①財源を新設から既存の“健身路経”の維持・修繕に振り向ける強化、②機能性、多様性を高め、より安全な健康器具の開発に財源を投入、③科学的、効果的に指導できる、“健身路経”利用指導員の養成へ財源を活用。

本稿の研究Ⅱで得られた知見を踏まえ、

財源の観点から、身体活動支援環境の整備に関するスポーツ振興くじ公益金のより有効的な運用法について以下の3つの提案を挙げた。①公園遊器具の新設と修繕②公園広場や、公園グランドゴルフ場の整備、③住宅地や公園、川沿いなどに歩きやすい歩道の整備。

また、本研究の限界点については、2つの点を挙げた。①地方の“健身路経”整備現状に関する情報の欠如、②“健身路経”が国民の身体活動にどのような影響をもたらしているのかを言及していない。

## 第5章 結論

本稿で得られた知見から、整備を促進する上でアプローチすべき財源措置を考慮し“健身路経”の持続的な発展を導くことができるだろう。また、健康増進を目的した身体活動支援環境の整備を推進する施策の構築に対する一助となるものと考えられる。

## 引用文献

- 1) 坂井 文;英国の国営宝くじ基金に見る公園の整備及び再整備に関する財源確保の手法, ランドスケープ研究, Vol.71, No.5, pp723-726, 2008.
- 2) 中国国務院新聞発表会; 劉鵬局長中国国家体育総局工作報告, 2009年6月20日.
- 3) 中国国家体育総局; 「中国体育彩票全民健身工程管理暂行规定」(中国スポーツ振興くじ公益金全国民“健身路経”管理暫定規定), 体群字124号.2000年.